

令和5年度 学校評価総括表 (徳島県立板野支援学校)

重点課題	重点目標	評価指標	評価指標の達成度	総合評価	関係者評価	次年度の課題
1 安心安全な学校づくり	・安全教育(通学・スクールバス)等や生徒指導・生活指導の推進(生徒指導課) 搜索訓練や不審者対応研修を実施し、児童生徒の安全管理に万全を期する。	①対象生徒に沿ったマニュアルを作成し、搜索訓練を実施する。 ②訓練実施後にアンケートを実施し、危機管理意識が高まったと回答する教職員が、8割を超えるようにする。 ③不審者対応研修を実施する。 ①自転車通学生や公共交通機関利用者を対象に、交通安全に対する意識が高まるような指導を実施する。 ②毎月、自転車通学生には自転車点検を行う。	<アンケートの結果> ① ②			
		活動計画 ①-1 担任を中心として、対象生徒に特化したマニュアルを作成し学部内で検討する。 ①-2 全校で訓練を実施する。 ②-1 実施後にアンケートを実施し、良かった点や改善点をまとめたものを教職員で共有する。 ②-2 改善点を盛り込み、ブラッシュアップしたマニュアルを教職員で共有する。 ③-1 警察署員を講師に招聘し、不審者対応について学ぶ。 毎月の学校安全の日に向けて、自転車通学生を中心として安全旗を設置する。 ①-2 交通安全教室や交通安全に関する集会を実施する。 ②-1 点検表を作成し、ヘルメット着用を含めて確認を行う。不備がある場合は早急に修理をするよう促し、修理後再度確認する。	活動計画の実施状況			

重点課題	重点目標	評価指標	評価指標の達成度	総合評価	関係者評価	次年度の課題
1 安心安全な学校づくり	・安全教育(通学・スクールバス)等や生徒指導・生活指導の推進(舍務部)	①「生活プロジェクト」の取り組みを通じて、キャリア発達内容表「Ⅰ健康・身体」「Ⅲ社会生活」を併せた7つの能力項目のうち2つ以上達成する。	活動計画の実施状況			
		②「生活プロジェクト」は、各舎生1回以上実施する。				
		活動計画				
		①各学期ごと、舎生一人一人の生活指導の重点目標を検討する。				
		②キャリア発達内容表「Ⅰ健康・身体」「Ⅲ社会生活」の能力項目や系列項目を目標に取り入れた「生活プロジェクト」を立案する。				
		③6月～12月の期間内に「生活プロジェクト」を実施し評価する。				
重点課題	重点目標	評価指標	評価指標の達成度	総合評価	関係者評価	次年度の課題
2 児童生徒に応じた教育活動の充実	・発達段階に応じた人権教育や図書教育の推進(人権教育課)	①年間に2回以上、校内職員に研修機会を提供し、人権意識の向上や人権学習の充実に資する。(年度末の教員アンケートにおいて、8割以上の教員から「人権意識が高まった」「これからの人権学習に役立つ」との回答を得られるようにする。)	<アンケートの結果> ① ②			
		②人権教育年間計画にもとづいた人権学習や「人権の日」の活動、公開授業等において、児童生徒が意欲的・主体的に取り組むことができる。(年度末の教員アンケートにおいて「人権学習や活動に児童生徒が意欲的に取り組めた」「主体的に取り組めた」とする回答を8割以上にする)				
		活動計画	活動計画の実施状況			
		①-1 教職員対象の校内研修(12月頃)の実施、校外研修の案内、各種研究大会の参加のよびかけを行う。				
		①-2 研修後に、研修内容をふりかえり、今後に生かせられるようアンケートを実施する。				
		①-3町人研大会(高等部)に向けて、各担当で連携し、計画・運営をはかる。				
		②-1 人権学習について、各学級・ホームルーム毎に、年度初めには年間計画、年度末には実践報告を作成し、共有できるようにする。				
		②-2「人権の日」に、あいさつ運動・「じんけん」配布・人権放送を実施し、児童生徒や保護者への啓発活動を行う。				
		②-3町人研大会(高等部)において、児童生徒の発達段階をふまえながら、指導案作成や公開授業を実施できるようにする。				

重点課題	重点目標	評価指標	評価指標の達成度	総合評価	関係者評価	次年度の課題
2 児童生徒に応じた教育活動の充実	・発達段階に応じた人権教育や図書教育の推進(図書課)	①図書室の児童生徒の図書資料の貸し出し数が、月に50冊以上になることが、年6か月を超える。	<アンケートの結果> ① ②			
		活動計画	活動計画の実施状況			
		①-1新着図書を広報する等して、図書への興味・関心、読書への意欲を高めるとともに、図書資料等を整備し、図書室を利用しやすい環境作りを行う。 ①-2図書室前掲示板において、季節の壁面飾りや様々な展示をしたり壁面クイズを実施したりして、図書室の利用を促す。				
3 保護者や関係機関等と連携した教育の推進	・保護者と連携したPTA活動や学校行事(体育祭・文化祭)の推進(涉外課)	①PTA総会(定期総会)を年1回実施する。 ②PTA役員会を年4回実施する。 ③施設見学を年1回実施する。	<アンケートの結果> ① ②			
		活動計画	活動計画の実施状況			
		①-1 4月にPTA総会を実施し、昨年度の事業報告や会計報告、新年度の事業計画や予算案などを確認し、承認を得る。 ①-2 保護者と学校間で意見交換を行い、議題となる事柄について意見をまとめ、問題解決に向けて話し合う。 ②-1 4月、5月、10月、2月の年4回PTA役員会を実施し、研修会や会計、次年度の行事についてなどの確認を行う。 ②-2 保護者を代表する本部役員からの意見を集約し、問題解決に向けて話し合う。 ③-1 9月以降に実施する施設見学に向けて、保護者と連携し調整を行う。 ③-2 施設見学後、保護者の意見を集約し、次年度の取り組みに繋げる。				

重点課題	重点目標	評価指標	評価指標の達成度	総合評価	関係者評価	次年度の課題
3 保護者や関係機関等と連携した教育の推進	・保護者と連携したPTA活動や学校行事(体育祭・文化祭)の推進(特別活動課)	<p>コロナウィルス感染症が5類に変更したことを受け、保護者と連携した開かれた学校作りを目指す。</p> <p>①体育祭・文化祭において実施内容が児童生徒の実態に即しているか、5回以上検討を重ねる。</p> <p>②学校行事後のアンケートにおいて、児童生徒がそれぞれの持つ力を活かして主体的に活動できたかについて肯定的な評価を80%以上得る。</p>	<p><アンケートの結果></p> <p>①</p> <p>②</p>			
		<p>活動計画</p> <p>①各学部、学習グループで児童生徒の実態に沿って実施内容を検討する。課内の検討会において意見を集約し、学校全体での共通理解を図る。特に、この3年間の経験を生かし、すべてを元に戻すのではなく、良かった点をしっかり検討した上での新しい形の学校祭を目指す。</p> <p>②行事後にアンケートを実施し、保護者や教職員の意見を集約する。児童生徒がそれぞれの持つ力を活かして主体的に活動できていたか評価する。</p>	<p>活動計画の実施状況</p>			